～ 話を聴く専門家　+視点の切り替え＆新しい選択肢の提案 ～

NPO 認定 傾聴カウンセラー養成講座 ＋メンタルコーチング

基礎講座（循環のコミュニケーション講座）にて傾聴カウンセリングのベースを身につけた上に、当養成講座では一対一の師資相承にて、さらに実践的な傾聴カウンセリングを深めていきます。実習を中心とした内容となります。（実習の相手は受講生、または当方にて準備していきます。）

プロの傾聴カウンセラーとして必要なスキルを、**毎回の実習の中から抽出された 課題やテーマと連動させながら、一つ一つ身につけていきます。**
受講のペース自体も受講生の毎回の状況により、異なってきます。

卒業までに、**自分自身の傾聴カウンセリングのオリジナリティの構築、とともに そのときのクライアントの状況に応じた 臨機応変な対応のありかたを身につけていきます。**

【メンタルコーチングについて】

実際の相談の場でクライアントとの間のラポール（信頼関係）を深めていく中で、必要なタイミングでそのときのご本人には **"まだ意識が向いていない『新しい選択肢（こういうやりかたがあるかもという提案）』**について、**主に実習の中で、"いま、こんな風にコーチ（新しい選択肢の提示）ができると思うけどどう？" みたいな 投げかけを都度させて頂きます。**

傾聴はそれだけでも **クライアントとの間の コミュニケーションの循環**（ラポール：信頼関係）を生み、井戸端会議など日常でのコミュニケーションでは得られない話し手側の満足感・すっきり感を得ることができますが、傾聴カウンセリングに メンタルコーチングをプラスすることによって、**将来 ご自分がサポートされるクライアントの方への個人支援のイメージがより深まる**のではないかと思います。

日時： 基礎講座（循環のコミュニケーション講座）受講後、随時開講
頻度（推奨）： 2 時間/回（3 週間毎）　受講料： ¥20,000/回 （認定日のみ￥23,000）
総受講時間： 基礎講座： 18 時間 ＋ 個別講座（実習など）：30 時間程度

講座の軸： 傾聴カウンセリング実習を中心とした師資相承、オリジナルスタイルの構築 など
＊基礎講座で学んだエッセンスを使って、即実習に入っていきます。 実習の相手は、最初はみなさんが知っている方から、後半ははじめてお会いする方をこちらでご用意させて頂きます。

【カリキュラム概要（標準例）】

1. 初回オリエンテーション＆傾聴カウンセリング実習準備
（循コミュふりかえり、NPO 認定 傾聴カウンセラー養成講座 ～実習の流れ～、p.27~28）
2. 実習 1（知人） 60 分程度
3. 実習 2（知人） 60 分程度
4. 実習まとめ

5. 実習 3（知人） 60 分程度
6. 実習 4（知人） 60 分程度
7. **実習まとめ**

8. 最終実習準備（＝**実際のセッションの場づくり**）
（**問い合わせ～当日の場づくり ＆ 事例別の対応・臨機応変の対応について**）

9. 実習 5（はじめての人：テーマ当日）90 分程度
10. 実習ふりかえり

11. 実習 6（はじめての人：テーマ当日）90 分程度
12. 最終実習ふりかえり ＆ NPO 認定 傾聴カウンセラー養成講座まとめ

13. 傾聴カウンセラー 認定チュートリアル ＆ 更新制度登録
14. 今後プロとして活動していく上で確認しておきたいこと（養成講座内で復習しておきたいこと など）

＊受講生の状況により、当養成講座開始前、あるいは講座中に個人セッションを数回受けて頂くことがあります。
（ギフトエコノミー制 or 10%割引価格）
まず自分自身の内側を整理＆癒すことにより、養成講座の学びが加速します。

＊受講期間中に 15 回以上の練習セッション（無料）が必要です。（うち実習を 6 回以上）
＊修了認定のための卒業チュートリアル（個人指導）を 1 回受けて頂きます。（￥13,000）

＊更新登録
修了認定証発行料として￥5,000、更新制度登録手数料として 5,000 円（2 年毎）が必要です。
（更新制度登録者には写真付きの”登録カード”を発行しています。）

2 年毎に規定の単位数取得（6 単位）と 15 回以上のフィールドワーク（有料 or 無料）が終了していることを確認の上、更新認定のためのチュートリアル（個人指導）（￥13,000）を受けて頂きます。